

新潟県中越沖地震を踏まえた対応について

平成 20 年 3 月 14 日

中国電力株式会社



1 . 新潟県中越沖地震

地震発生時刻	平成19年7月16日 10時13分	
震源地	新潟県中越沖（深さ17km） 北緯 37度33.4分 東経138度36.5分	
マグニチュード	6.8 （震度6強）	
各地の震度	震度6強 （新潟県）柏崎市、刈羽村 震度5強 （新潟県）小千谷市	
柏崎刈羽原子力発電所からの距離	震央距離	約16km
	震源距離	約23km



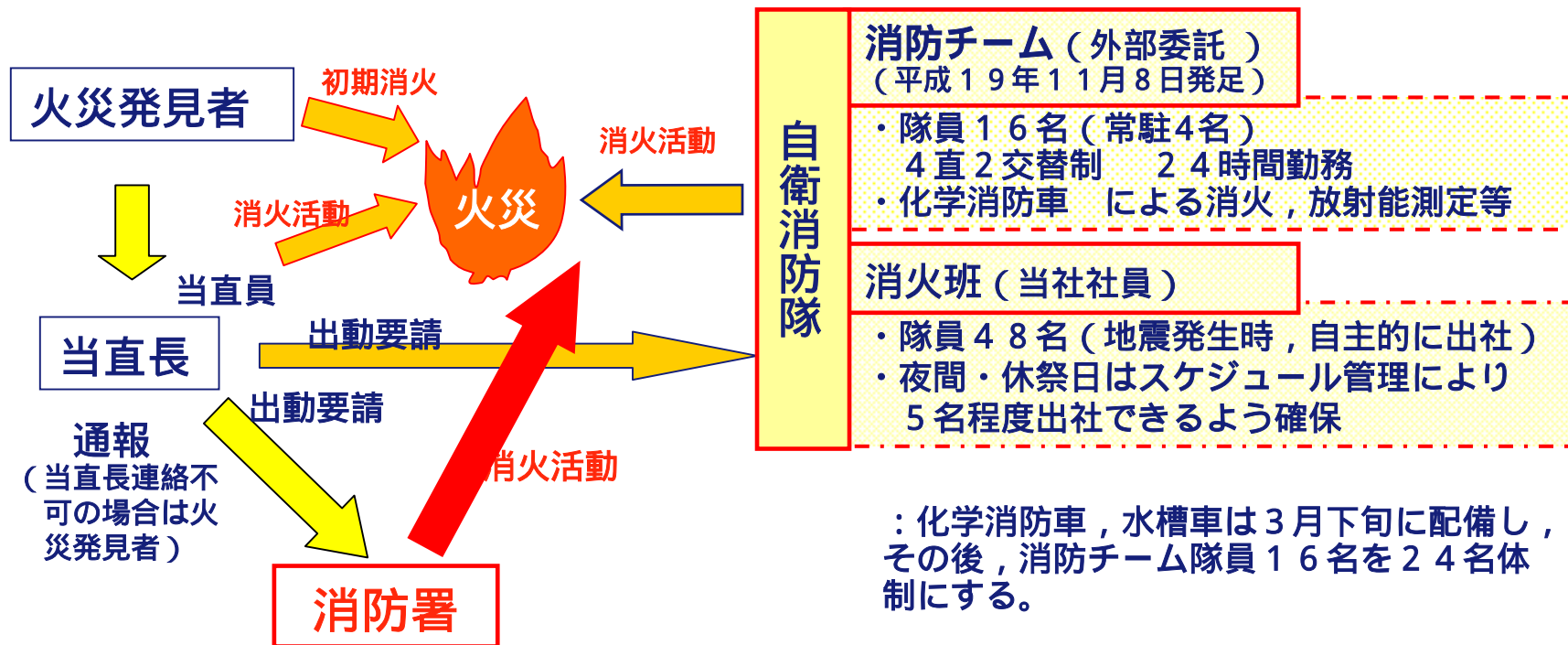
2 . 島根原子力発電所の対応（概要）

項 目	報 告 内 容	完了時期
自衛消防体制の強化	火災発生時の迅速な人員確保体制の構築	平成19年10月
	油火災等に備えた化学消防車の配置等	平成20年 3月末 予定
	消防に対する専用通信回線の確保	平成19年11月
	消防機関での実地訓練と連携下の訓練強化	平成19年10月
迅速かつ厳格な事故報告体制の構築	放射性物質の漏えいなどの事実関係確認に必要な人員確保体制の早急な構築	平成20年 2月
	発電所内及び発電所と災害対策本部等間において確実に機能する通信手段の確保	平成19年11月
	放射性物質の漏えいの可能性に接した時点で国及び地方自治体への迅速な報告	平成19年 9月
国民の安全を第一とした耐震安全性の確認	中越沖地震から得られる知見を耐震安全性評価へ反映	平成20年12月末 予定（1・2号機）
	現在の評価を勘案し、確実に可能な限り早期に評価を完了できる実施計画の見直し	平成21年12月末 予定（3号機）

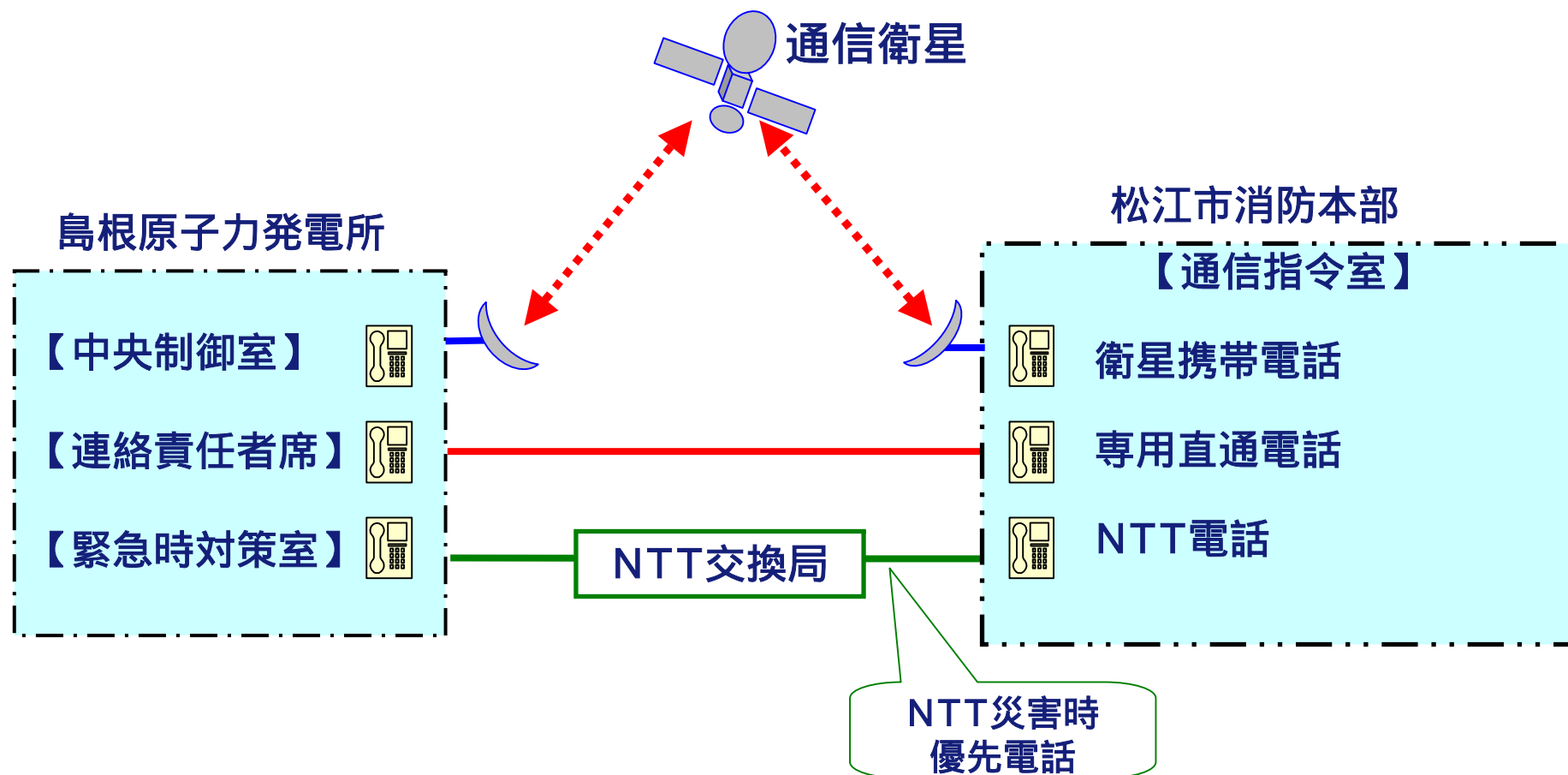
3 . 島根原子力発電所の対応

(1) 自衛消防体制の強化

夜間・休祭日を問わず，連絡責任者・担当者の2名常駐
 トラブル，火災，地震等の事象により，通報基準および
 国，自治体，報道機関等への連絡ルートを規定
 消防訓練を1回/月実施



(2) 消防に対する専用通信回線の確保



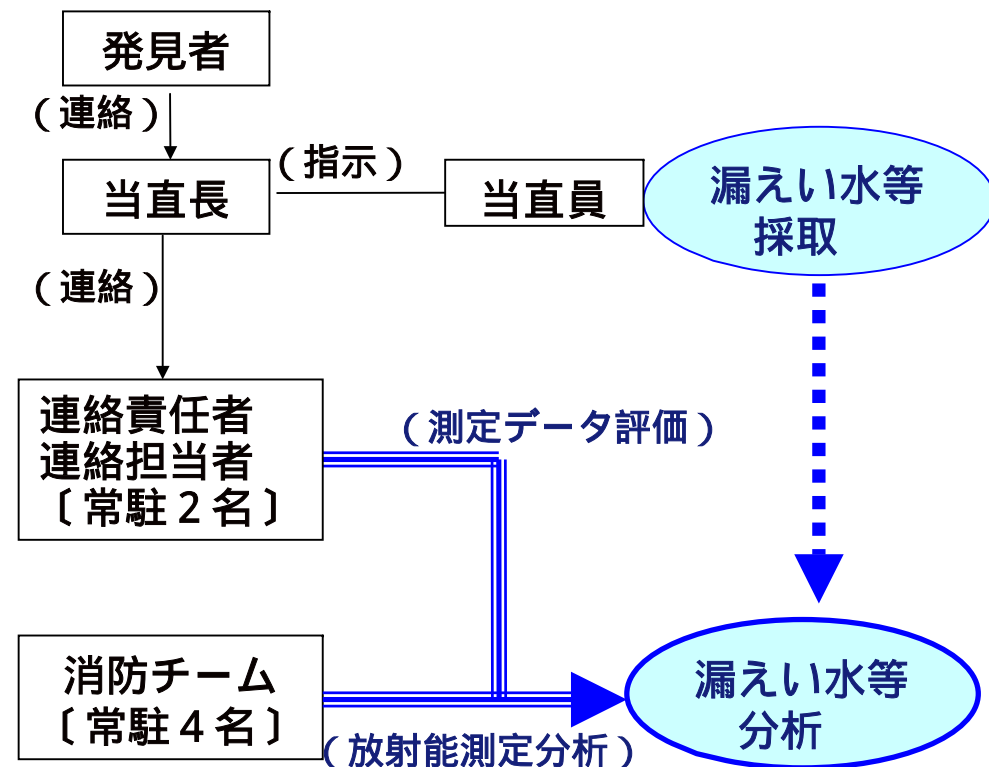
(3) 迅速かつ厳格な事故報告体制の構築

放射性物質の漏えいなどの事実関係確認に必要なとなる人員を確保

地震等発生時や夜間・休日であっても、放射性物質漏えい等に関する通報連絡を迅速・確実に実施するために、夜間・休祭日を問わず放射能分析員2名（連絡担当者、消防チーム各1名）を常駐する放射能測定体制を整備

万一、放射性物質の漏えいなどが確認された場合には、直ちに、国及び地方自治体へ通報

放射能測定体制



4 . 中越沖地震に関するその他の対応 (主なもの)

固体廃棄物貯蔵庫ドラム缶の転倒防止

区 分	転倒防止方法
A 棟貯蔵所	3 段目 (最上段) 通路側のドラム缶 に対して 4 本ごと (1 パレット) にベ ルトで固縛
B , C 棟貯蔵所	3 段目 (最上段) の通路側ドラム缶 に対して 4 本ごとにベルトで固縛 1 列積みドラム缶は , 上記の対処が できているためチェーン等で転倒防止

保管容量 : 約35,500本



ベルト固縛転倒防止